

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月10日

上場会社名 株式会社 千葉銀行  
 コード番号 8331 URL <http://www.chibabank.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役頭取  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月10日

(氏名) 竹山 正  
 (氏名) 阿部 忠  
 特定取引勘定設置の有無 有

TEL 043-245-1111

上場取引所 東

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	194,220	—	11,382	—	7,550	—
20年3月期第3四半期	201,860	2.6	62,096	4.7	38,731	2.4

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	8.44	—	—	—
20年3月期第3四半期	43.32	—	—	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	10,354,661	537,172	5.0	586.81				
20年3月期	9,835,939	580,168	5.7	634.94				

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 524,514百万円 20年3月期 567,552百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で除して算出しております。

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	5.50	—	5.50	11.00
21年3月期	—	6.50	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	6.50	13.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
通期	270,000	0.4	30,000	△62.1	19,000	△58.6	21.25	—

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 895,521,087株 20年3月期 895,521,087株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 1,680,066株 20年3月期 1,656,833株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 893,840,266株 20年3月期第3四半期 893,940,779株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 当連結会計年度の四半期報告書より新日本有限責任監査法人の四半期レビューを受けております。

3. 業績予想に関連する事項については、2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては以下のとおりとなりました。

経常収益は、前年同期比 76 億 40 百万円減少し 1,942 億 20 百万円となりました。これは、貸出金増強により貸出金利息は増加しましたが、有価証券利息配当金や役務取引等収益が減少したことなどによるものです。経常費用は、景気後退に伴う企業業績の悪化により不良債権処理額が増加したほか、世界的な金融危機の影響により株式や外国債券等の売却損・減損処理を計上したことなどにより、前年同期比 430 億 73 百万円増加し 1,828 億 38 百万円となりました。

これらの結果、経常利益は前年同期比 507 億 14 百万円減少して 113 億 82 百万円となり、四半期純利益は前年同期比 311 億 80 百万円減少して 75 億 50 百万円となりました。なお、1 株当たり四半期純利益金額は 8 円 44 銭となりました。

事業の種類別セグメントの状況につきましては、銀行業務の経常収益は前年同期比 58 億 58 百万円減少し 1,783 億 40 百万円、経常利益は前年同期比 492 億 86 百万円減少し 109 億 17 百万円となりました。また、リース業務の経常収益は前年同期比 2 億 96 百万円減少し 144 億 19 百万円、経常利益は前年同期比 3 億 97 百万円減少し 8 億 1 百万円、その他業務の経常収益は前年同期比 14 億 22 百万円減少し 25 億 25 百万円、経常利益は前年同期比 9 億 87 百万円減少し△1 億 57 百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

主要勘定の動きは、次のとおりとなりました。

預金は、さまざまな金融商品・サービスを品揃えし、給与振込や年金受取口座など家計のメインバンクとしてご利用いただくことを目指して活動してまいりましたことにより、当第3四半期会計期間末残高は前年度末比 1,375 億円増加し、8 兆 5,136 億円となりました。

貸出金は、法人や個人のお客さまの資金調達ニーズに積極的に応えてまいりましたことにより、当第3四半期会計期間末残高は前年度末比 5,790 億円増加し、7 兆 2,036 億円となりました。また、有価証券は、前年度末比 698 億円減少し 1 兆 9,752 億円となりました。

これらの結果、総資産の当第3四半期会計期間末残高は、前年度末比 5,187 億円増加し、10 兆 3,546 億円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成 20 年 11 月 14 日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

※ なお、上記の業績予想は、現在当行が入手可能な情報及び現時点での判断、評価、事実認識に基づいた仮定を前提としております。実際の業績は、今後想定されるさまざまな要因（国内外の経済、金利・株式市場等の状況変化）によって異なる結果となる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当ありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

	当第3四半期連結累計期間(自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 12 月 31 日)
1. 減価償却費の算定方法	定率法を採用している有形固定資産については、年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。
2. 貸倒引当金の計上方法	「破綻先」、「実質破綻先」に係る債権等及び「破綻懸念先」で個別の予想損失額を引き当てている債権等以外の債権に対する貸倒引当金につきましては、中間連結会計期間末の予想損失率を適用して計上しております。
3. 税金費用の計算	法人税等につきましては、年度決算と同様の方法により計算しておりますが、納付税額の算出に係る加減算項目及び税額控除項目は、重要性の高い項目に限定して適用しております。

	当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)
4. 繰延税金資産の回収可能性の判断	繰延税金資産の回収可能性の判断につきましては、一時差異の発生状況について中間連結会計期間末から大幅な変動がないと認められるため、当該中間連結会計期間末の検討において使用した将来の業績予測及びタックス・プランニングの結果を適用しております。
5. 連結会社相互間の債権債務及び取引の相殺消去	連結会社相互間の債権債務につきましては、合理的な範囲内で、当該債権の額と債務の額の差異の調整を行わずに相殺消去しております。 連結会社相互間の取引につきましては、取引金額の差異を合理的な方法により相殺消去しております。

② 四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理

該当ありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更

	当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)
1. 会計処理基準に関する事項の変更	<p>(1) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。</p> <p>(2) 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号平成18年5月17日)が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度から適用されることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間から同実務対応報告を適用しております。これによる影響はありません。</p> <p>(3) リース取引に関する会計基準          所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号平成19年3月30日)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号同前)が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度から適用されることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間から同会計基準及び適用指針を適用しております。これによる損益への影響は軽微であります。          なお、リース取引開始日が平成20年4月1日前に開始する連結会計年度に属するものについては、通常の賃貸借取引に準じた会計処理によっております。          貸手側に係る当該取引については、「その他資産」中のリース投資資産として計上しております。また、当該取引に係る収益の計上基準については、リース料受取時に売上高と売上原価を計上する方法によっております。          また、リース取引開始日が平成20年4月1日前に開始する連結会計年度に属する当該取引につきましては、前連結会計年度末における固定資産の減価償却累計額控除後の額で期首に契約したものととして計上する方法によっております。          なお、「その他資産」中のリース投資資産は41,341百万円増加し、「有形固定資産」が39,652百万円、「無形固定資産」が1,688百万円減少しております。</p> <p>(4) その他有価証券に係る時価の算定方法の一部変更          従来、その他有価証券のうち時価のある国内株式及び国内投資信託の評価は、連結決算日の市場価格等に基づく時価法によっておりましたが、中間期末後の金融市場の混乱から生じる国内株式価格等の著しい変動に鑑み、短期的な過度の価格変動が財務諸表に与える影響を平準化するため当第3四半期連結会計期間から期末前1カ月の市場価格の平均等による方法に変更しております。これにより「有価証券」は8,429百万円減少、「繰延税金資産」は3,101百万円増加、「その他有価証券評価差額金」は5,320百万円減少しております。また、有価証券関係損失(減損処理額)は425百万円増加し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ425百万円減少しております。          なお、中間連結会計期間において上記の算定方法を適用した場合は、「有価証券」は12,152百万円増加、「繰延税金資産」は5,184百万円減少、「その他有価証券評価差額金」は6,953百万円増加します。また、有価証券関係損失(減損処理額)は296百万円減少し、経常利益及び税金等調整前中間純利益はそれぞれ296百万円増加します。</p>

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	235,147	426,953
コールローン及び買入手形	40,534	10,480
債券貸借取引支払保証金	16,573	22,081
買入金銭債権	60,524	65,434
特定取引資産	406,690	285,029
金銭の信託	28,519	29,511
有価証券	1,975,210	2,045,011
貸出金	7,203,692	6,624,687
外国為替	3,340	3,693
その他資産	138,988	70,819
有形固定資産	95,971	136,066
無形固定資産	8,021	9,583
繰延税金資産	82,669	48,319
支払承諾見返	114,758	112,049
貸倒引当金	△55,981	△53,784
資産の部合計	10,354,661	9,835,939
<b>負債の部</b>		
預金	8,513,608	8,376,091
譲渡性預金	118,845	128,003
コールマネー及び売渡手形	106,463	184,973
売現先勘定	229,891	97,401
債券貸借取引受入担保金	67,292	81,105
特定取引負債	22,992	16,617
借入金	455,415	80,646
外国為替	223	516
社債	31,000	41,000
その他負債	120,040	100,030
役員賞与引当金	—	63
退職給付引当金	18,785	18,435
役員退職慰労引当金	1,320	1,649
睡眠預金払戻引当金	686	996
ポイント引当金	798	607
特別法上の引当金	35	215
繰延税金負債	6	42
再評価に係る繰延税金負債	15,323	15,323
支払承諾	114,758	112,049
負債の部合計	9,817,489	9,255,770

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
資本金	145,069	145,069
資本剰余金	123,387	123,404
利益剰余金	280,396	283,583
自己株式	△1,213	△1,217
株主資本合計	547,639	550,839
その他有価証券評価差額金	△29,165	8,634
繰延ヘッジ損益	△1,743	300
土地再評価差額金	7,777	7,777
為替換算調整勘定	7	1
評価・換算差額等合計	△23,124	16,713
少数株主持分	12,657	12,616
純資産の部合計	537,172	580,168
負債及び純資産の部合計	10,354,661	9,835,939

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間  
(自平成20年4月1日  
至平成20年12月31日)

経常収益	194,220
資金運用収益	138,523
(うち貸出金利息)	112,677
(うち有価証券利息配当金)	23,024
信託報酬	5
役務取引等収益	30,328
特定取引収益	3,545
その他業務収益	3,018
その他経常収益	18,798
経常費用	182,838
資金調達費用	27,870
(うち預金利息)	19,264
役務取引等費用	10,792
その他業務費用	25,170
営業経費	65,371
その他経常費用	53,633
経常利益	11,382
特別利益	3,944
固定資産処分益	223
償却債権取立益	3,539
金融商品取引責任準備金取崩額	180
特別損失	358
固定資産処分損	358
税金等調整前四半期純利益	14,967
法人税、住民税及び事業税	18,562
法人税等調整額	△11,565
法人税等合計	6,996
少数株主利益	421
四半期純利益	7,550

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

① 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

(単位:百万円)

	銀行業務	リース業務	その他業務	計	消去 又は全社	連 結
経 常 収 益						
(1)外部顧客に対する経常収益	177,565	14,155	2,498	194,220	—	194,220
(2)セグメント間の内部経常収益	775	263	27	1,065	(1,065)	—
計	178,340	14,419	2,525	195,285	(1,065)	194,220
経常利益(△は経常損失)	10,917	801	△157	11,560	(178)	11,382

(注) 1. 一般企業の売上高及び営業利益に代えて、それぞれ経常収益及び経常利益を記載しております。

2. 事業区分は、連結会社の事業の内容により区分しております。なお、「その他業務」は、証券業等でありませ

② 所在地別セグメント情報

全セグメントの経常収益の合計額に占める本邦の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

③ 海外経常収益

海外経常収益が連結経常収益の10%未満のため、海外経常収益の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

≪ 参考資料 ≫ 前第3四半期に関する四半期連結財務諸表等

(1) 前年同四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
経 常 収 益	201,860
資 金 運 用 収 益 (うち貸出金利息)	142,025 (107,800)
(うち有価証券利息配当金)	(31,549)
信 託 報 酬	6
役 務 取 引 等 収 益	32,998
特 定 取 引 収 益	2,796
そ の 他 業 務 収 益	3,110
そ の 他 経 常 収 益	20,923
経 常 費 用	139,764
資 金 調 達 費 用 (うち預金利息)	35,972 (23,829)
役 務 取 引 等 費 用	10,486
特 定 取 引 費 用	21
そ の 他 業 務 費 用	3,497
営 業 経 費	64,502
そ の 他 経 常 費 用	25,282
経 常 利 益	62,096
特 別 利 益	7,134
特 別 損 失	2,661
税金等調整前四半期純利益	66,568
法人税、住民税及び事業税	22,541
法人税等調整額	4,632
少数株主利益	663
四 半 期 純 利 益	38,731

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(2) セグメント情報

① 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)

(単位：百万円)

	銀行業務	リース 業 務	そ の 他 業 務	計	消 去 又は全社	連 結
経 常 収 益						
(1) 外部顧客に対する経常収益	183,489	14,439	3,930	201,860	—	201,860
(2) セグメント間の内部経常収益	709	276	17	1,003	(1,003)	—
計	184,199	14,716	3,948	202,864	(1,003)	201,860
経 常 費 用	123,995	13,517	3,118	140,631	(867)	139,764
経 常 利 益	60,204	1,198	829	62,232	(136)	62,096

② 所在地別セグメント情報

全セグメントの経常収益の合計額に占める本邦の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

③ 海外経常収益

海外経常収益が連結経常収益の10%未満のため、海外経常収益の記載を省略しております。

※前第3四半期に関する四半期連結財務諸表等は参考資料であり、四半期レビューを受けておりません。



## 平成20年度第3四半期決算 説明資料

## 1. 損益の状況(単体)

## 【業務純益】

銀行の基礎的な利益を示すコア業務純益は、前年同期比43億円増加の676億円となりました。これは、資金利益が貸出金の残高増加などにより前年同期比54億円増加したことが主因です。一方、外国債券の売却損及び償却などにより債券関係損益で244億円の損失を計上したことなどから、業務純益(一般貸引繰入前)は前年同期比181億円減少し432億円となりました。

## 【経常利益・四半期純利益】

経常利益は、業務純益(一般貸引繰入前)の減少に加え、信用コストの増加及び株式等関係損益の減少などにより前年同期比455億円減少の88億円となりました。

四半期純利益は、前年同期比309億円減少の66億円となりました。

(単位:百万円)

	平成20年度 第3四半期 (9カ月)	平成19年度 第3四半期 (9カ月)	前年同期比	平成20年度 (公表値)	(参考) 平成19年度
業務粗利益 (除く債券関係損益) A	103,334 (127,783)	120,676 (122,628)	△17,342 (5,155)		163,157 (164,092)
資金利益	110,187	104,760	5,427		139,511
役務取引等利益	11,968	13,961	△1,992		18,451
特定取引利益	3,333	2,346	987		3,372
その他業務利益	△22,155	△391	△21,764		1,821
うち債券関係損益	△24,449	△1,951	△22,498		△935
うち外国債券売却損・償却	19,746	1,260	18,485		1,804
経費(除く臨時処理分) B	60,088	59,286	801		79,246
<b>コア業務純益(A-B)</b>	<b>67,694</b>	<b>63,341</b>	<b>4,353</b>	<b>89,000</b>	<b>84,846</b>
<b>業務純益(一般貸引繰入前)</b>	<b>43,245</b>	<b>61,390</b>	<b>△18,144</b>	<b>68,000</b>	<b>83,910</b>
一般貸倒引当金純繰入額①	3,003	—	3,003		—
業務純益	40,242	61,390	△21,147		83,910
臨時損益	△31,352	△6,974	△24,378		△13,855
うち不良債権処理額②	22,440	10,816	11,624		13,727
うち株式等関係損益	△10,144	1,651	△11,796		△1,880
<b>経常利益</b>	<b>8,889</b>	<b>54,415</b>	<b>△45,526</b>	<b>28,000</b>	<b>70,055</b>
特別損益	3,238	8,079	△4,840		7,216
うち貸倒引当金戻入益③	—	6,562	△6,562		5,018
うち償却債権取立益④	3,507	3,956	△449		5,050
<b>四半期(当期)純利益</b>	<b>6,675</b>	<b>37,588</b>	<b>△30,912</b>	<b>18,000</b>	<b>44,678</b>
信用コスト(①+②-③)	25,444	4,253	21,190		8,709
実質信用コスト(①+②-③-④)	21,936	297	21,639		3,659

(注) コア業務純益=業務純益(一般貸引繰入前)-債券関係損益

2. 貸出金・預金の残高（単体・末残）

○貸出金は、お客様のニーズに積極的にお応えすることにより、20年9月末比、事業者向け貸出が3,094億円増加、住宅ローンが291億円増加、全体で3,614億円増加し、7兆2,396億円となりました。

○預金は、20年9月末比749億円増加の8兆5,402億円となりました。個人預金が20年9月末比1,597億円増加しました。

		(単位：億円)	(参 考)	(単位：億円)
		平成20年12月末	平成20年9月末	増 減
<b>貸</b>	<b>出 金</b>	<b>72,396</b>	<b>68,782</b>	<b>3,614</b>
	国内向け貸出	71,964	68,321	3,643
	事業者向け貸出	44,551	41,457	3,094
	消費者ローン	23,138	22,862	275
	うち住宅ローン	22,037	21,746	291
	公共向け貸出	4,275	4,001	273
	うち中小企業等貸出	53,674	52,417	1,257
	(中小企業等貸出比率)	( 74.58%)	( 76.72%)	( △2.13%)
	うち県内向け貸出	53,751	52,487	1,264
	うち中小企業等貸出	47,041	46,462	579
	海外向け貸出	431	460	△28
<b>預</b>	<b>金</b>	<b>85,402</b>	<b>84,653</b>	<b>749</b>
	うち個人	66,491	64,894	1,597

(注) 中小企業等貸出比率 = 中小企業等貸出 / 国内向け貸出

(参 考) 投資信託の残高等

		(単位：億円)	(単位：億円)	
		平成20年12月末	平成20年9月末	増 減
投資信託残高		4,153	5,346	△1,192
うち個人		4,069	5,242	△1,172
うち株式投資信託		4,051	5,210	△1,158

  

		20年度第3四半期中(9カ月)	19年度第3四半期中(9カ月)	前年同期比
個人年金保険等(取扱保険料)		623	533	89

## 3. 金融再生法開示債権（単体）

(単位：百万円)		(参 考)	
	平成 20 年 12 月末	平成 20 年 9 月末	増 減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	36,648	35,332	1,316
危険債権	58,857	60,057	△ 1,199
要管理債権	68,263	97,636	△ 29,373
合 計	163,769	193,026	△ 29,256
正常債権	7,254,698	6,858,620	396,078
不良債権比率	2.20%	2.73%	△ 0.52%

## 4. リスク管理債権の状況（連結・単体）

## 【連結】

(単位：百万円)		(参 考)	
	平成 20 年 12 月末	平成 20 年 9 月末	増 減
破綻先債権額	8,937	7,733	1,204
延滞債権額	87,911	87,743	168
3カ月以上延滞債権額	9,260	5,318	3,942
貸出条件緩和債権額	59,090	92,424	△ 33,334
合 計	165,199	193,218	△ 28,018
貸出金残高（末残）	7,203,692	6,844,783	358,909
貸出金残高比	2.29%	2.82%	△ 0.52%

## 【単体】

(単位：百万円)		(参 考)	
	平成 20 年 12 月末	平成 20 年 9 月末	増 減
破綻先債権額	9,071	8,022	1,049
延滞債権額	85,534	85,955	△ 421
3カ月以上延滞債権額	9,260	5,318	3,942
貸出条件緩和債権額	59,002	92,318	△ 33,315
合 計	162,869	191,614	△ 28,745
貸出金残高（末残）	7,239,678	6,878,200	361,478
貸出金残高比	2.24%	2.78%	△ 0.53%

5. 有価証券の状況

(1) 時価のある有価証券の評価差額・含み損益

【連結】

(単位：億円)

(参考)

(単位：億円)

	平成20年12月末			
	時価	評価差額・含み損益	うち	
			益	損
満期保有目的	434	△1	0	2
その他有価証券	18,513	△457	360	817
株式	1,504	33	239	205
債券	12,561	△59	108	167
その他	4,447	△430	12	443
うち外国債券	3,773	△183	12	196

	平成20年9月末			
	時価	評価差額・含み損益	うち	
			益	損
満期保有目的	457	△1	0	1
その他有価証券	19,395	△194	459	654
株式	1,866	337	422	84
債券	12,177	△152	29	182
その他	5,351	△379	7	387
うち外国債券	4,520	△197	7	204

【単体】

(単位：億円)

(参考)

(単位：億円)

	平成20年12月末			
	時価	評価差額・含み損益	うち	
			益	損
満期保有目的	434	△1	0	2
その他有価証券	18,483	△462	352	814
株式	1,475	28	231	203
債券	12,561	△59	108	167
その他	4,447	△430	12	443
うち外国債券	3,773	△183	12	196

	平成20年9月末			
	時価	評価差額・含み損益	うち	
			益	損
満期保有目的	457	△1	0	1
その他有価証券	19,364	△200	451	651
株式	1,835	331	414	82
債券	12,177	△152	29	182
その他	5,350	△379	7	387
うち外国債券	4,520	△197	7	204

- (注)1. 「評価差額・含み損益」は、期末時点の帳簿価額(償却原価法適用後、減損処理後)と時価との差額を計上しております。  
 2. 有価証券のほか、「現金預け金」中の譲渡性預け金及び「買入金銭債権」中の信託受益権も含めております。  
 3. 従来、その他有価証券のうち時価のある国内株式及び国内投資信託の評価は、連結決算日の市場価格等に基づく時価法によっておりましたが、中間期末後の金融市場の混乱から生じる国内株式価格等の著しい変動に鑑み、短期的な過度の価格変動が財務諸表に与える影響を平準化するため当第3四半期連結会計期間から期末前1カ月の市場価格の平均等による方法に変更しております。(参考:日経平均株価 12月末 8,859円 12月1カ月平均 8,463円)  
 4. 変動利付国債等について、企業会計基準委員会「実務対応報告第25号」を適用した時価の見直しは実施しておりません。  
 5. 子会社・関連会社株式で時価のあるものはありません。

(2) 有価証券関係損益(単体)

(単位：百万円)

	平成20年度 第3四半期 (9カ月)	平成19年度 第3四半期 (9カ月)	前年同期比	(参考)
				平成19年度
国債等債券損益	△24,449	△1,951	△22,498	△935
売却益	721	760	△39	2,373
償還益	—	—	—	—
売却損	8,562	1,586	6,975	1,647
償還損	—	—	—	—
償却	16,607	1,124	15,482	1,662

株式等関係損益	平成20年度 第3四半期 (9カ月)	平成19年度 第3四半期 (9カ月)	前年同期比	(参考)
				平成19年度
株式等関係損益	△10,144	1,651	△11,796	△1,880
売却益	255	2,014	△1,758	2,649
売却損	99	45	54	64
償却	10,300	317	9,983	4,465

(ご参考)

平成20年12月末における自己資本比率(国際統一基準)は現在算出中であり、確定次第、別途開示いたします。

以上